



平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 ホソカワミクロン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6277 URL http://www.hosokawamicon.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 細川悦男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 総務・経理統括兼経理本部長 (氏名) 井上鉄也 (TEL) 072-855-2225
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	34,993	9.8	3,028	45.4	3,207	53.8	2,285	59.6
28年9月期第3四半期	31,856	△0.7	2,083	181.2	2,085	134.9	1,431	164.4

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 4,809百万円(—%) 28年9月期第3四半期 △1,888百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	273.04	271.93
28年9月期第3四半期	171.03	170.45

※当社は、平成29年4月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	55,084	32,511	58.8
28年9月期	47,880	28,690	59.7

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 32,411百万円 28年9月期 28,601百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	7.50	—	10.00	17.50
29年9月期	—	7.50	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	37.50	—

※当社は、平成29年4月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施したため、平成29年9月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年9月期(予想)の1株当たり期末配当金は7.5円となり、1株当たり年間配当金は15円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	0.8	3,750	2.5	3,750	0.9	2,550	0.8	304.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年9月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年9月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は60円92銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年9月期3Q	8,615,269株	28年9月期	8,615,269株
29年9月期3Q	296,390株	28年9月期	244,327株
29年9月期3Q	8,369,245株	28年9月期3Q	8,372,416株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※当社は、平成29年4月1日を効力日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は平成28年12月20日開催の第72回定時株主総会において、平成29年4月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成29年9月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

(1) 平成29年9月期の配当予想

1株当たり配当金

期末 7.5円

(2) 平成29年9月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益

通期 60円92銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、日本においては輸出と生産に持ち直しの動きが、欧州においては投資と輸出に拡大傾向がそれぞれ見受けられ、引き続き底堅く推移しております。

一方、米国においては、4－6月期の実質GDP成長率が伸びを見せたものの、米国・トランプ政権下における政策運営リスクが実体経済の下押し要因となる可能性があり、中国においては、堅調な輸出や固定資産投資に加え、公共投資の下支えにより回復基調に転じたと思われるものの、今秋に控えた中国共産党大会を前に、習近平体制が高めの成長誘導を図っているとの見方もあり、今後の動向に引き続き注意が必要です。

このような経済環境の中、業績は総じて堅調に推移いたしました。

当第3四半期連結累計期間の受注高は421億8千2百万円（前年同期比17.8%の増加）、受注残高は266億2千3百万円（前年同期比39.2%の増加）、売上高は349億9千3百万円（前年同期比9.8%の増加）となりました。

利益面におきましては、営業利益は30億2千8百万円（前年同期比45.4%の増加）、経常利益は32億7百万円（前年同期比53.8%の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億8千5百万円（前年同期比59.6%の増加）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<粉体関連事業>

当事業は、粉砕・分級装置、混合・乾燥装置及び日本市場においての大気汚染防止装置、製品捕集用集塵装置、精密空調制御装置等の製造販売、複合ナノ粒子を中心とした新素材開発とその商品化並びに微粉体受託加工サービスを提供するホソカワミクロングループの主力分野であります。

食品、化学や鉱産物向けが堅調であったのに加え、磁石や二次電池などの電子材料や医薬向けも安定的に推移したことにより、世界的に受注が拡大いたしました。

これらの結果、受注高は307億9千7百万円（前年同期比19.7%の増加）、受注残高は178億3千3百万円（前年同期比35.1%の増加）となり、売上高は260億5百万円（前年同期比11.1%の増加）となりました。セグメント利益は27億8千4百万円（前年同期比72.4%の増加）となりました。

<プラスチック薄膜関連事業>

当事業は、単層から多層の各種プラスチック高機能フィルム製造装置の開発・製造・販売を行っております。

米国、アジア、南欧など、全般的に引き続き受注環境は良好で高水準の受注が続いております。

これらの結果、受注高は113億8千5百万円（前年同期比12.9%の増加）、受注残高は87億9千万円（前年同期比48.4%の増加）となり、売上高は89億8千8百万円（前年同期比6.5%の増加）となりました。セグメント利益は10億6千万円（前年同期比15.6%の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当第3四半期連結会計期間末の財政状態については、前連結会計年度末に比べ、総資産は、現金及び預金や有形固定資産の増加などにより72億3百万円増加し、550億8千4百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金や前受金の増加などにより33億8千2百万円増加し、225億7千2百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加及び為替が円安に振れたことによる為替換算調整勘定のプラスが大きくなったことなどにより38億2千1百万円増加し、325億1千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社、国内連結子会社及び一部の海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,642	16,157
受取手形及び売掛金	10,595	11,340
製品	1,212	2,558
仕掛品	2,649	2,628
原材料及び貯蔵品	2,031	1,699
繰延税金資産	486	506
その他	707	1,122
貸倒引当金	△163	△154
流動資産合計	30,162	35,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,501	16,529
機械装置及び運搬具	9,007	10,351
土地	4,296	4,432
建設仮勘定	64	202
その他	1,768	1,999
減価償却累計額及び減損損失累計額	△15,109	△16,735
有形固定資産合計	15,528	16,779
無形固定資産		
のれん	153	124
その他	190	206
無形固定資産合計	343	330
投資その他の資産		
投資有価証券	1,094	1,474
繰延税金資産	515	427
その他	245	219
貸倒引当金	△9	△7
投資その他の資産合計	1,845	2,114
固定資産合計	17,717	19,225
資産合計	47,880	55,084
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,202	5,787
1年内返済予定の長期借入金	987	869
未払費用	1,961	2,452
未払法人税等	551	224
繰延税金負債	28	93
前受金	3,224	5,035
賞与引当金	409	209
役員賞与引当金	58	36
製品保証引当金	609	545
ポイント引当金	47	62
その他	1,111	978
流動負債合計	13,193	16,295

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
固定負債		
長期借入金	1,902	1,730
退職給付に係る負債	3,928	4,329
繰延税金負債	—	43
その他	165	173
固定負債合計	5,996	6,277
負債合計	19,190	22,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,496	14,496
資本剰余金	5,148	5,146
利益剰余金	16,674	18,227
自己株式	△918	△1,184
株主資本合計	35,400	36,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△97	184
繰延ヘッジ損益	9	41
為替換算調整勘定	△6,133	△3,893
退職給付に係る調整累計額	△576	△607
その他の包括利益累計額合計	△6,798	△4,274
新株予約権	88	99
純資産合計	28,690	32,511
負債純資産合計	47,880	55,084

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	31,856	34,993
売上原価	20,649	22,511
売上総利益	11,206	12,481
販売費及び一般管理費	9,123	9,453
営業利益	2,083	3,028
営業外収益		
受取利息	28	13
受取配当金	19	20
持分法による投資利益	35	22
為替差益	—	145
訴訟関連費用戻入額	31	—
その他	49	34
営業外収益合計	165	235
営業外費用		
支払利息	23	14
為替差損	56	—
デリバティブ評価損	36	1
その他	47	40
営業外費用合計	163	56
経常利益	2,085	3,207
特別利益		
固定資産売却益	61	19
特別利益合計	61	19
特別損失		
固定資産除売却損	7	2
100周年記念費用	68	—
特別損失合計	75	2
税金等調整前四半期純利益	2,071	3,224
法人税等	639	939
四半期純利益	1,431	2,285
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,431	2,285

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,431	2,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△343	281
繰延ヘッジ損益	19	32
為替換算調整勘定	△3,108	2,240
退職給付に係る調整額	113	△30
その他の包括利益合計	△3,320	2,523
四半期包括利益	△1,888	4,809
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,888	4,809
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月16日開催の取締役会における決議に基づき、当社普通株式51,800株を取得いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が263百万円増加し、単元未満株式の買取りによる取得を含め、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は1,184百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	23,414	8,441	31,856	—	31,856
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	23,414	8,441	31,856	—	31,856
セグメント利益	1,615	1,256	2,872	△788	2,083

(注) 1 セグメント利益の調整額△788百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	26,005	8,988	34,993	—	34,993
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	3	△3	—
計	26,008	8,988	34,996	△3	34,993
セグメント利益	2,784	1,060	3,844	△816	3,028

(注) 1 セグメント利益の調整額△816百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。